

東日本大震災被災地支援

山科消防署から7名出動！



3月11日14時46分、三陸沖を震源とする巨大地震が発生し、未曾有の被害に見舞われました。お亡くなりになられた方々のご冥福を衷心よりお祈りするとともに、被災された皆様方に対し心からお見舞い申し上げます。京都市消防局では、発災直後

に緊急消防援助隊が出動準備を行い、山科消防署からは、小型ポンプ車1台、電源照明車1台と職員7名が京都を出発しました。

派遣先は甚大な被害が発生した宮城県本吉郡南三陸町で、12日夜、現地に到着。南三陸町志津川地区及び周囲の集落の救助活動に当たりました。被害は想像をはるかに絶するもので、地震による家屋の倒壊や火災による被害ではなく、地震発生直後の大津波により、町は壊滅し、瓦礫とわずかな建物だけが点在し、高台に

避難された方々がかろうじて難を逃れた状態でした。それでも隊員全員が一丸となり、懸命な救助活動を行いました。被害は深刻な状態で、今なお被災地において、行方不明者の捜索や救護活動が行われています。

被害に遭われた地域の一日でも早い復興をお祈り申し上げます。
山科消防署 消防司令 朝日直樹

被災された方々の相談会を実施

西野学区社会福祉協議会では、3月11日の大震災の影響により避難され、区内の市営住宅に入居されているご家族に対して、3月

26日から、毎週土曜日の午後、相談会を開催されました。

相談会では、避難生活を余儀なくされておられる方々の生活のお役に立てるよう、医療機関の情報提供や生活家電品の紹介、小学校の転入手続きなどが、丁寧に説明され、また、被災されたご家族のコミュニケーションの場の提供も行われました。震災に遭われた方々には、心に寄り添うきめ細かな支援が必要です。ここ山科で少しでも安心して安全に暮らせるように、地域の方々が力を合わせて支援の輪を広げています。

地上デジタル放送受信のための支援(簡易チューナーの給付等)

国において、①市民税非課税世帯、②NHK受信料免除世帯(生活保護世帯や障害のある方がいる市民税非課税世帯)を対象に、受信支援(簡易な地デジ対応チューナーの無償給付等)が行われています。

- 申請期限/平成23年7月24日
- 問合せ先/総務省地デジチューナー支援実施センター
- ①市民税非課税世帯向け支援 (☎0570-023-724)
- ②NHK受信料免除世帯向け支援 (☎0570-033-840)



▲中臣遺跡のナイフ形石器発掘場所を示す看板(勤修寺)

区民が選んだ「山科の魅力」の案内板を設置

区民と行政との「共汗・協働」により、「わがまち山科を知る機会の充実」を図る取組として、昨年5月に区民参加により作成した冊子「京都山科東西南北」を基に、山科の魅力を紹介する案内板を作成しました。区内の地下鉄5駅に、

駅周辺の魅力を紹介する案内地図を設置したほか、旧石器時代の石器発掘場所など、現地を見ただけではわからないような魅力を説明する案内板を、区内4箇所に設置しています。●問合せ先/区まちづくり推進課(☎592-3088)

●大乗寺に観光案内板が設置されました

おこしやす“やましな”協議会では、北花山大峰町の大乗寺に、新たに観光案内板を設置しました。案内板では、史跡の紹介だけでなく、訪れた方が近隣名所を歩いて散策できるように、周

辺地図を掲載するとともに、天智天皇山科陵や日向大神宮を紹介しています。酔芙蓉で有名な大乗寺。酔芙蓉が見ごろとなる9月から10月の初秋のころに、ぜひ足を運んで散策してください。



●問合せ先/おこしやす“やましな”協議会 区総務課企画広報担当(☎592-3066)

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう！ 連載 区民活動きずなリレー

第1回

～山科駅前セーフティネットによる「安朱きずなマップ」の作成～

今年度は、10年間の区のまちづくりのビジョンとなる「第2期山科区基本計画」をスタートさせる年。区民の皆様で創り上げられた計画を、皆で実行・実現していきましょう。

山科駅前をより安全な玄関口とするため、平成22年4月に安朱学区が中心となり、事業者、学校、行政が連携した「山科駅前セーフティネット」の活動が始まりました。活動の柱のひとつはマップ作りです。交通安全・防災・防犯の視点で、実際にまちを歩いてチェックし、10回に及ぶマップ作成委員会での検討



●安朱きずなマップを経て完成しました。

取組の参加者からは「駅前を含めた学区全域についてよく知ることができた」「危険な場所が一目で分かる」などの声が上がりました。安朱学区自主防災会長でもある川寄さんは「口コミ頼みだった町内の緊急時集合場所をマップで明確にできてうれしい。集合場所の確認や再検討

にあってほしい」と述べられました。山科駅前セーフティネット代表の幸田さんは「地域の安全な環境は人々の“きずな”から。マップを通じて地域のつながりを強めたい」と言われ、名称の“きずな”という言葉にこだわったそうです。

山科駅前セーフティネットでは、「山科駅前迷惑駐輪一掃作戦」も毎週実施されています。

このように、安朱学区においても“きずな”を大切に取組が続けられています。

●問合せ先/区総務課企画広報担当(☎592-3066)



●マップ作成委員会

「小野駅周辺おでかけマップ」を作成しました



「山科区交通問題研究会」の成果として、公共交通をより使いやすいために、バスと地下鉄の重要な結節点である小野駅において、それぞれの時刻表と路線図などの情報を載せた「小野駅周辺おでかけマップ」を作成しました。このマップは、小野駅の利用者が多いと思われる小野学区に配布したほか、地下鉄小野駅や、京阪バス山科営業所でもお配りしています。今後、このような公共交通をより使いやすいものにするマップを他の駅などでも作成していく予定です。

●問合せ先/区まちづくり推進課(☎592-3088)